

①	対象プロジェクト	机浜番屋群再生プロジェクト	所在地	岩手県田野畑村	所有者 (管理者)	机浜番屋群保存活用協議会
	パートナー団体名	机浜番屋群再生プロジェクト実行委員会(代表者 上机莞治)	事業費	5,001千円	活動の期間	H23.7~H28.3(予定)
	活動の実施体制	・H18年、所有者と管理者により組織された「机浜番屋群保存活用協議会」、NPO、大学や専門家、地元住民など内外のサポーターを加えて組織された実行委員会が実施。 ※事務局:田野畑村役場復興対策室内				
	公開・活用状況	・H14年、地元青年会による保存活動を契機に観光交流拠点としての展示等を開始。H18の指定を受け、観光客や修学旅行生の受入を行い、地域文化の学習や体験ができ、住民と観光客の交流拠点として通年での活用を行っていた。				
	対象遺産の概要と被害状況	・S8年三陸大津波以降に再建された漁師の作業小屋や倉庫など、大小25棟の番屋建造物群等。(平成18年水産庁「未来に残したい漁業漁村歴史文化財百選」指定) ・津波により流失全損。				
	事業概要	・番屋再生構想づくりとシンボリックな番屋の再建 ・都市サポーターへの支援(登録金・ボランティア)呼びかけ、情報発信 ・番屋群再生後の活用・展開に向けた活動				
	採択事由	・青年会を中心とする住民の保存活動を契機に、行政の密な連携体制により活発な観光交流に取り組みられてきた実績と、外部の専門家やサポーターの参加協力によるむらづくりの拠点としてのシンボリック性を評価した。				
②	対象プロジェクト	尾形家住宅修復保存プロジェクト	所在地	宮城県気仙沼市	所有者	尾形 健
	パートナー団体名	気仙沼・尾形家修復保存会(代表者 後藤治)	事業費	205,679千円	活動の期間	H23.4~H29.3(予定)
	活動の実施体制	・文化財建築および民俗専門家らによる保存会が主体となり、ボランティアに参加してもらいながら、文化庁をはじめ多くの文化財修復専門家の意見をもらい、再建築を行う。 ・行政・地域住民(集落)との協議をもとに活動実施中。 ※大島架橋建設計画との調整(道路整備にあわせた再建計画を検討) ・地域NPO(今後)および外部の専門家・団体との連携				
	公開・活用状況	・個人宅として使用していたため、特別公開等は行なっていなかったが、希望があれば公開していた。				
	対象遺産の概要と被害状況	・気仙沼湾の東岸の岬に位置する、旧網元の民家で200年以上の歴史を有する。文化7年の御手伝帳から建築年代も確認されている。 ・全壊し津波により押し流されたが、約100m移動した位置で小屋組が発見された。長押しより上の部材は良好な状態で、大黒柱も3本見つかっている。				
	事業概要	・すでに4月から茅葺き屋根の解体、小屋組解体、瓦礫内からの部材救出等を実施してきた。 ・今後、気仙沼市の文化財として再建築・指定を目指すとともに、地域に根付いた文化財として活用を行う。				
	採択事由	・被災直後から地元住民や行政、専門家といった多主体の連携により修復保存に向けた取り組みが開始され、内外の注目も大きい。申請団体である保存会は、そうした関係者が主な構成員となり発足した会である。多くの文化財建造物が津波による壊滅的な被害を受けた気仙沼市にあって、市民の認知度も高い尾形家住宅の再建は、地域の復興にとってシンボリック性も高いと考えられる。				